



豊中市教育センター
〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600
TEL 06-6844-5290
FAX 06-6840-8127
平成23年(2011年)5月9日第49号

「大好きやで・・・」

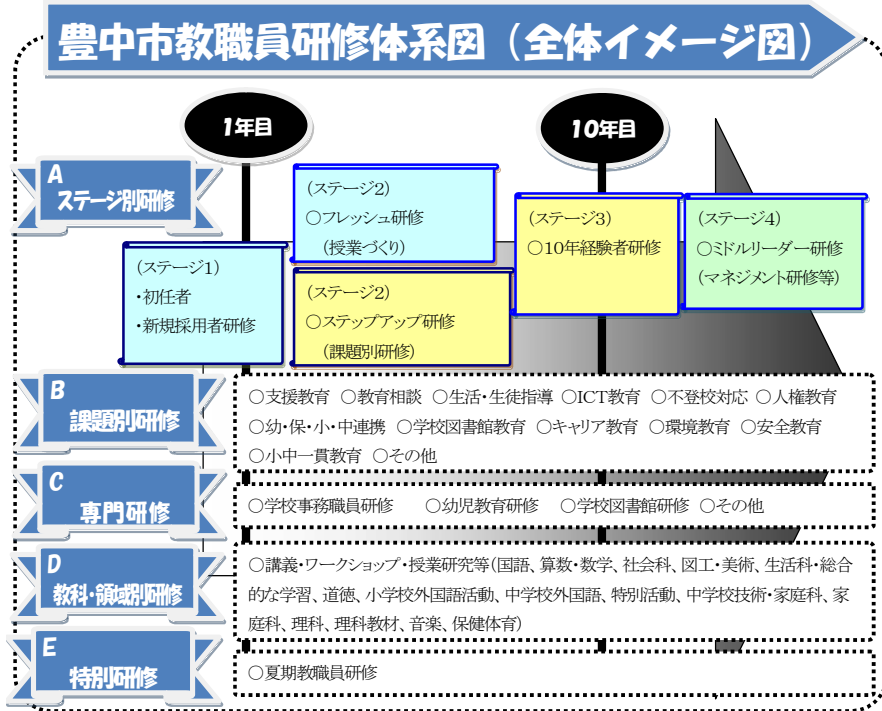


大阪教育大学の野口克海先生が「子どもは好きな人からしか学ばない。好かれようと思うな、好きになれ！」と、ある研究会でおっしゃっていました。子どもにかかわらず、人は誰でも自分のことを、好いてくれている＝認めてくれている＝わかってくれていると認識すると、心の鎧をぬいで、素のままの自分

をさらけ出すことができます。好きな人の言うことなら、いやなことでも聞けますし、「この人にならついていく！」という気持ちに自ずとなってしまう。

先日、ある新聞に「人は誰かに好かれると、その人に好意を持つ」という見出しを見つけました。アロンソンとリンダーというアメリカの社会心理学者が、実験などの研究結果を通じて提唱された法則とのこと。好意の互恵性の法則といわれているそうです。その逆の敵意についても同様だそうです。その例示として書かれていたことは、学校でよく見かける光景でした。なにか人より秀でたものがある子どもは、そのことで周りの人から好かれ、その子どもは周りを好意的に見る。好意をもたれた相手はますますその子を好きになる。一方、クラスメートから排除されてしまったりすると、周囲がみんな敵に見え、孤立感が深まり、さらに新たな敵を作ってしまう。

私たちが学校や社会で人と接するとき、相手のよいところを見つけて、相手を好きになる努力をすることが、誰もがすごしやすい居場所をつくる第一歩なんですね。ましてや、さまざまな事情の中で、精一杯踏ん張っているのに、周囲から誤解を受けやすい子どもなら、なおのことです。学校の先生や職員がその子のステキなところを見だし、頻りに声をかけて、「大好きビーム」を発し続けることで、その子自身が人から好かれる要素を作り出し、自らの力で自分を変え、自信を持つことにつながります。ずいぶん前のことですが、3学期終盤、授業を抜けだしたやんちゃなAを追いかけ、下足室の傘立ての上に並んで座り、話し込んでいたとき、沈黙の後、彼の口から「あんな、おれの担任になってくれや・・・いやか」とぼつり。あの言葉に、私自身がどれだけ勇気付けられたかことか。中3の一年間を彼と37人の仲間と一緒に歩きました。決して、甘い1年間じゃなかったけれど、私の財産のひとつです。新しい出会いの中で、学校やクラスの中で「大好き」を一番欲しているのは誰かを見抜き、さりげなくかつ丁寧に声をかけてください。子どもは敏感に肌で感じています。そして、必ず、返してくれます。学校という場に勤めるものにとってやりがいを感じる瞬間です。 (鈴木)



A(ステージ別研修)
キャリアステージに応じた研修を実施します。

B(課題別研修)
個々の教育課題に応じた研修を実施します。

C(専門研修)
教育活動を様々な側面から支援する研修を実施します。

D(教科・領域別研修)
教科・領域の専門性を高める研修

番号	研修名	対象			日程							
		幼	小	中								
A (ステージ別研修)	1 初任者研修		●ア	●ア	該当者に別途通知							
	2-1 フレッシュ研修		●イ	●イ	6/23(木)	7/28(木)	8/3(水)	8月上旬実施予定	8/26(金)	-	-	-
	2-2 ステップアップ研修		●ウ	●ウ	7/22(金)	7/25(月)	7月下旬実施予定	8/9(火)	8月中旬実施予定	8/24(水)	-	-
	3 10年経験者研修		○	○	該当者に別途通知							
	4 ミドルリーダー研修		●エ	●エ	6月実施予定	7/21(木)	8月上旬実施予定	8/10(水)	-	-	-	-

●ア=初任者研修 ●イ=教職経験2~3年目対象 ●ウ=教職経験10年未満対象 ●エ=教職経験10年以上対象 ●カ=常勤講師(教職経験1年未満)対象

番号	研修名	対象			日程							
		幼	小	中								
B (課題別研修)	1 人権教育研修		●カ	●カ	4/22(金)	-	-	-	-	-	-	-
	2 人権研修	○	○	○	5/20(金)	7/29(金)	10/17(月)	11/7(月)	12/12(月)	2/24(金)	-	-
	3 障害児教育研修	○	○	○	年間 2回							
	4 障害児教育連続研修	○	○	○	年間 5回程度							
	5 就学前障害児教育研修	○	○	○	年間 2回							
	6 教育相談研修		○	○	5/26(木) 生徒指導研修を兼ねる	8/5(金)	8/31(水)	-	-	-	-	-
	7 不登校対応研修	○	○	○	5/19(木)	8/18(木)	-	-	-	-	-	-
	8 生徒(生活)指導研修		○	○	5/26(木) 教育相談研修を兼ねる	11/24(木)	-	-	-	-	-	-
	9 ICTスキルアップ研修		○	○	6/10(金)	7/21(木)	7/21(木)	7/25(月)	7/28(木)	7/28(木)	8/3(水)	8/3(水)
					8/23(火)	8/23(火)	-	-	-	-	-	-
	10 ICT活用実践研修		○	○	5/2(月)	5/24(火)	7/25(月)	8/8(月)	8/8(月)	8/10(水)	8/19(金)	8/19(金)
					8/22(月)	8/22(月)	10/31(月)	11/28(月)	1/30(月)	2/27(月)	-	-
	12 学校図書館教育研修		○	○	6月実施予定	10月実施予定	-	-	-	-	-	-
	13 環境教育研修		○	○	7/28(木)	-	-	-	-	-	-	-
	14 「小中一貫教育」推進事業全体研修会	○	○	○	7月実施予定	-	-	-	-	-	-	-
	15 キャリア教育研修会	○	○	○	6月実施予定	-	-	-	-	-	-	-
	16 学校保健安全研修会	○	○	○	実施日未定	-	-	-	-	-	-	-
17 プール安全管理講習会	○	○	○	5/12(木)	-	-	-	-	-	-	-	

番号	研修名	対象			日程	
		幼	小	中		
C (専門研修)	1 学校図書館研修会		●才	●才	年間 2回	
	2 特別支援教育コーディネーター研修	○	○	○	年間 6回程度	
	3 支援学校連携研修	○	○	○	年間 3回程度	
	4 学校事務職員研修		○	○	年間 1回	
	5 幼稚園教育研修	○			年間 4回程度	

●才=司書教諭

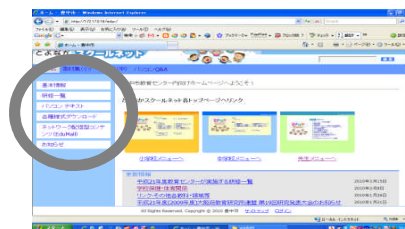
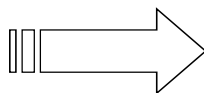
番号	研修名	対象			日程									
		幼	小	中	7月		8月		9月		10月		11月	
D (教科領域別研修)	1 国語研修		○	○	7月実施予定	11月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 算数・数学研修		○	○	7/26(火)	11月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 社会科研修		○	○	8月実施予定	1月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-
	4 図工・美術研修		○	○	8/5(金)	12月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 生活科・総合的な学習の時間 研修		○	○	8/5(金)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 道徳研修		○	○	5/12(木)	6/28(火)	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 小学校外国語活動研修		○	○	5月実施予定	2月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 中学校外国語研修		○	○	8/9(火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 特別活動研修		○	○	8/26(金)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10 中学校技術・家庭科研修		○	○	8/10(水)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11 家庭科研修		○	○	8月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12 理科研修		○	○	7/22(金)	10/14(金)	11/11(金)	1/19(木)	-	-	-	-	-	-
	13 音楽研修		○	○	1月実施予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14 保健体育研修	○	○	○	6/6(月)	6月実施予定	10/25(火)	1/24(火)	-	-	-	-	-	-
	15 理科教材研修	○	○	○	4/25(月)	5/9(月)	5/26(木)	2/23(木)	-	-	-	-	-	-

番号	研修名	対象			日程	
		幼	小	中		
E (特別研修)	3 夏期教職員研修	○	○	○	8/31(水)	

◆◆教育センターのホームページをご活用ください!◆◆



ココをクリック!



内向けページ (トップ)

- 1 とよなかスクールネットにつながる環境で、「豊中市教育センター」のホームページを出します。
- 2 左下の「豊中市教育センター内向けホームページ」というボタンをクリックしてください。

※内向けページでは、研修、教材などの情報を見たり、各種様式をダウンロードしたりできます。新しいノートPCでは、インターネットエクスプローラー

平成23年度(2011年度)の研修計画です。講師や研修内容については、各月ごとに配付する研修予定表を参考にしてください。
「確かな学びを豊かな学びへ！」 教育センターをぜひご活用ください。



気になる子どもへの支援のヒントより 落ち着きのない子 一子ども編一

新学年が始まり、落ち着きのない子の様子が気になっている先生もおられるのではないのでしょうか。Aさんはいつもよく動き回り、教室の外に出ていくこともありました。どのようにAさんに関わっていけばよいかを考えてみたいと思います。

まずAさんの様子をよく見てみましょう。

- * 落ち着きがなくなるのはいつでしょうか？ 例えば・・・
 - ・ 授業の始めでしょうか？ 終わりでしょうか？
 - ・ 科目・曜日によって違いはあるのでしょうか？
 - ・ 先生の説明の後、プリント学習の時など共通のタイミングがあるのでしょうか？
- * 落ち着いているときはありますか？ それは、いつでしょうか？
- * 教室を出るときはどんな表情や様子でしょうか？ など・・・



Aさんは算数の時間に座って勉強していることが多く、国語の時間に席を立つ傾向がありました。また教室を出るときは先生の様子をうかがっており、追いかけて欲しいそぶりも見せました。

さらに授業内容とAさんの様子に関連がないか注目して見ていると、勉強が理解できなかったり説明が分からなかったりする時に、動き回る傾向があることが分かってきました。また去年まで関わりのあった先生から話を聞いてみました。すると、家ではお母さんの帰りが仕事で遅いとのことで、大人に構ってほしい気持ちが強いことが推測されました。

支援の手だてとして以下のことが考えられます。

- ① Aさんが苦手な勉強の時は声かけをして説明を補足する。
- ② “教室から出るときは先生に許可を取る” など、クラスのルールとしてAさんにも守るように説明する。
- ③ 普段からAさんのいいところ、努力したところをほめる。
- ④ Aさんへの関わりが注意だけになっていないかを見直し、注意以外の言葉がけを増やす。

このように、まず子どもの様子を観察することから関わりのヒントが見えてきます。次号では保護者と協力して子どもを支援する方法について取りあげます。

(大倉)

参考：『気になる子どもへの支援のヒントー相談事例集ー』 p 6, 7, 42, 43

大阪府教育研究所連盟 教育相談部会編 豊中市教育センター2009年3月発行